

神通川森林計画区

第五次国有林野施業実施計画書

第一次変更計画

(変更分のみ)

[変更年月]

第一次変更 平成30年3月

計画期間
自 平成29年 4月 1日
至 平成34年 3月31日

林野庁 中部森林管理局

目 次

I	変更事由	1
II	変更事項	
5	保護林の名称及び区域	2
	ア 生物群集保護林	
	イ 希少個体群保護林	

神通川森林計画区 第五次国有林野施業実施計画の第一次変更について

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき国有林野施業実施計画の一部を次のように変更する。
なお、この変更は、平成30年4月1日から効力を生ずるものとする。

I 変更事由

1 保護林の名称及び区域について

「保護林制度の改正について」（平成27年9月28日付け27林国経第49号林野庁長官通知）に基づく保護林の見直しにより、再編を行う保護林箇所が隣接する中部山岳森林計画区と同一保護林となっていることから、名称を統一するため変更する。

5 保護林の名称及び区域

ア 生物群集保護林

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	施業等
北アルプス (朝日・白馬 連山)	既設	4,794.33	19い・ろ・イ 20い・ロ 21い・ロ 22い・ろ・イ・ロ・ ハ 23い・イ・ロ	後立山連峰の西側に所在し、 主な傾斜方位は西向きである。 朝日岳から日本海までの距離 が短く、冬期の季節風を直接受 けるため日本海側の代表的な植 生となっている。また、朝日岳 から白馬岳一帯は、山岳地形の 変化に富み、超塩基性の蛇紋岩 地帯があるため、400種にも及 ぶ高山植物が生育していること から、これらの生物群集を有す る森林の保護・管理を図る。	原則として、人為を加えず に自然の推移に委ねる。 外接する森林においては、 当該保護林の急激な環境の変 化を避けるため、原則として 皆伐等による施業は行わない ものとし、複層伐及び択伐を 中心とした育成複層林施業又 は天然生林施業を行う。
北アルプス (黒部・五 竜・針ノ 木・白沢 天狗)	新設	7,535.39	101い～は・イ 102い・イ 103い・イ 104い・ろ・イ・ハ ・ニ 122い～は・イ 123い～は・イ・ ロ 124い～は・イ 137ハ	立山連峰の剣岳から雄山と後 立山連峰の鹿島五竜岳から爺ヶ 岳の間に位置する。 黒部溪谷一帯には、岩石急斜 面植物群落、乾性及び湿性崖植 物群落、高山風衝わい性低木群 落、高山風衝草原、高山高原草 原などが広範囲に生育してお り、これらの生物群集を有する 森林の保護・管理を図る。	
面積計		12,329.72			

イ 希少個体群保護林

名称	新設 既設別	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	施業等
タテヤマスギ遺伝資源	既設	18.29	139ふ	<p>立山西山麓のブナ坂国有林の西へ伸びる尾根上の天然生林で、タテヤマスギ、ブナ、ホオノキ、ダケカンバ等が分布している。保護林の周辺に面積は多くないが、人工林がパッチ状に分布している。南側に接する常願寺国有林も天然生林を中心とした林分となっている。</p> <p>原生林として群生する立山スギの個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人為を加えずに自然の推移に委ねることとするが、当該個体群（タテヤマスギ）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
愛本ウラジロガシ等	既設	2.51	50ろ～へ	<p>飛騨山脈の北端、黒部峡谷帯が平野である黒部扇状地となる境界に所在する。</p> <p>暖温带林で常緑広葉樹が生育するヤブツバキクラス域である。河川に近接し風が強くあたる道路上の岩山に、高齢のウラジロガシの群落が成立している。</p> <p>富山県内にウラジロガシ、ケヤキがまとまって生育している天然林が少ないことから、その個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人為を加えずに自然の推移に委ねることとするが、当該個体群（ウラジロガシ等）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>

名 称	新 設 既設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
薬師岳・雲ノ平圏谷群 高山植物	既設	250.19	116イ 117ハ	<p>北アルプスのうち、奥黒部山地にあり、薬師岳山頂付近は急峻であるが周辺部は平坦な箇所が多い。山稜東側に氷河地形が出現する。</p> <p>薬師岳東側一帯には、氷河によってできた圏谷が並び学術上の価値が高く、その特異な立地条件に特有の希少な高山植物が生育していることから、その個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人為を加えずに自然の推移に委ねることとするが、当該個体群（高山植物等）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
立山オオシラビン	既設	75.40	137い 140ほ	<p>常願寺川源流域にある立山溶岩台地の弥陀ヶ原台地に所在する。オオシラビンは風衝地等でわい性化している。低木層はチシマザサの被度が高く、その間に落葉広葉樹であるナナカマド、ミネカエデ、ミヤマナラ等が低被度で成立している。草本層は、低木層が発達しているため少ない。</p> <p>豪雪地帯にオオシラビンの天然林がまとまって生育している箇所は少ないため、その個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人為を加えずに自然の推移に委ねることとするが、当該個体群（オオシラビン）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
面積計		346.39			